

競 技 注 意 事 項（記録会第5戦）

- 1 本大会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則に従って実施する。
- 2 競技場および練習について
 - ・競技開始前は本競技場を使用してよい。跳躍練習は競技用具の準備が完了している場合は、使用してよい。
 - ・競技開始20分前（8時10分）までとする。時刻までに後片付けをし、速やかに本競技場から退場する。
 - ・その他の練習は室内練習場または屋外走路を利用して行う。なお、走る方向は競技場と同じ反時計回りとする。（リレー練習をはじめ、レーンに貼ったテープは必ず各自で片付けること）
- 3 競技者の招集について
 - ・一時点呼（掲示板の○つけ）を行なうこと。2種目出場者は競技者係に申し出る。
 - ・招集完了時刻まで招集所（第4コーナー入口付近）で点呼を行う。
 - ・競技者係が誘導する。
 - ・招集完了時刻に遅れた者は棄権とみなし処理する。
 - ・種目が重なっている選手は、競技者係に伝えるとともに、フィールド審判にもその旨を伝えること。
- 4 アスリートビブスについて
 - ・定められたアスリートビブスを背と胸につける。ただし、跳躍競技者は背または胸につけるだけでよい。
 - ・腰ナンバーカードはランニングパンツの右側後方につける。ただし、リレーは第4走者だけがつける。
 - ・招集開始時刻になったら、招集所の机の上から腰ナンバー（長距離は胸ナンバー）を取り、自ら取り付ける。
- 5 レーン順 競技順
 - ・トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載どおりとする。
 - ・フィールド種目の試技数は、3本とする。
 - ・トラック競技で欠場者のレーンはそのままあける。
- 6 競技について
 - ・リレーのオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前までに提出する。
 - ・不正スタートは2024年度の競技規則によるが、小学生においては同一競技者の2回目を失格とする。
 - ・参加人数によってエントリー区分関係なく、同時スタートにする場合がある。
 - ・TR16.5の取り扱いについて
 - ①小学生は「不適切行為」は適用せず注意を与えるものとする。
 - ②中学生以上の「不適切行為」は警告を与える。同じ競技会の同一種目で2度の規則違反があった場合は失格とする。ただし、それ以後の種目の出場は妨げない。
 - ・小学3年生以上は英語合図とし、小学2年生以下は日本語合図とする。
 - ・小学4年生以上短距離のスタート方法はクラウチングスタートとする。
 - ・事故防止のため、短距離走ではフィニッシュ後も自分のレーンに沿って走り通すように、また、リレー競争の場合、バトンを受け渡した後も自分のレーンに留まり、競技終了後退場する。なおレーン内に貼るマーカーは自チームで用意し、終わったら必ずはがす。

- ・録画再生機器や録画映像は、録画映像を提供する者のすぐ近くの位置であれば競技区域内に持ち込むことが認められる。画像をより詳しく見るために、競技者は画像を撮影した人とコミュニケーションを取りながら録画再生機器を手にしても良い。【TR6. 4. 5】
- ・2種目を兼ねる選手についてはトラック競技を優先する。

7 競技場の入退場について

- ・競技場はその競技をする選手と競技役員だけが入場することができる。それ以外の者は競技場に立ち入ることとはできない。
- ・選手は本部前（表彰台付近）を通過することはできない。
- ・競技を終了した選手は次のように退場する。
 - ※トラック競技 フィニッシュ側ゲートより外に出て、スタート地点に戻り、衣服等を持ち帰る。
 - ※フィールド競技 審判員の指示に従い、安全に外側フィールドを通り自席に戻る。
 - ※リレー競技に出場している選手は最寄りの出口から退場する。

8 シューズについて

- ・シューズソールの厚さは競技規定内のものとする。
- ・スパイクシューズは全天候型スパイク及びピンを使用する。ピンの長さは9mm以下。ただし、走高跳は12mm以下とする。ニードルピンも使用可とする。

9 応急処置について

- ・医務室は本部内に設けてあり、応急処置までの用意がある。

10 その他

- ・記録賞を発行する。記録賞は本人または各チームの代表者がロビーまで取りに来る。
- ・競技終了後、または各自帰宅する時、その周辺を清掃する。（ゴミは持ち帰ること）
- ・落とし物については、競技会終了まで大会本部が預かり、それ以降は競技場事務所が預かる。